

世界の子どもの本展

国際アンデルセン賞と IBBY 推薦図書 200 冊

2017年5月2日(火)～7日(日)

期間
場所

会場：高松市美術館 中2階 こども+(プラス)

香川県高松市紺屋町 10-4 ☎087-823-1711

開室時間 10:00～17:00

入場
無料

57の国と地域から48言語の子どもの本が集まりました。本は手に取ってご覧になれます。子どもの本をとおして、世界の多様さにふれてください。

世界の子どもと本
全国巡回講演会

「読書は喜び」

◇ 5月7日(日)

時間 13:30～15:00 (受付13:00より)

講師 小林 豊 さん

演題 「絵本から見える景色」

会場 高松市美術館 1階講堂

対象 小学生から大人まで

定員 50人

申込先 下記のいずれか

① JBBY 電話またはメール

03-5228-0051 / kodomo2017@jbbby.org

② 高松市美術館

当日13:00より会場にて申込を受け付けます

講師紹介 小林 豊 (こばやしゆたか)

1946年、東京生まれ。日本画家・絵本作家。『せかいいちつくしいぼくの村』で、1998年 IBBY オナーリストに選出、第43回産経児童出版文化賞フジテレビ賞受賞。『クラウディアのいのり』(文:村尾靖子/共にポプラ社)で、第14回日本絵本賞読書賞受賞。主な作品に『ぼくの村にサーカスがきた』『なぜ戦争はおわらないのか—ぼくがアフガニスタンでみたこと—』(ポプラ社)『ぼくは弟と歩いた』(岩崎書店)『長崎ものがたり お船が出る日』(岩波書店)など。JBBY 理事。



「IBBY HONOUR LIST 2016」
2016年版リストの表紙
(11作品の表紙で構成されています)

JBBY

- 主催：一般社団法人日本国際児童図書評議会 (JBBY)
問合せ先 TEL / 03-5228-0051
- 共催：高松市美術館 友の会
- 独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」助成活動
活動名「国際アンデルセン賞・IBBY 推薦図書講演会」
- 協力：高松市美術館 / 日産自動車株式会社

左上から：『7年のねむり』(大韓民国)、『死について』(オランダ)、『とりたち』(ハンガリー)、『ピラエの一日』(トルコ)、『ザクロの島』(ギリシャ)、『アフリカ物語』(南アフリカ)、『子どものためだけにない詩』(ラトビア)、『イカロ』(スペイン)

展示 作品

IBBY がすすめる世界の児童書

—— 2016 年国際アンデルセン賞と IBBY オナーリスト

国際アンデルセン賞



国際アンデルセン賞 (Hans Christian Andersen Awards) は、1953 年に IBBY が創設した、世界ではじめての子どもの本の国際賞です。2 年に一度、子どもの本の世界に顕著な貢献をした作家と画家の全業績に対して贈られます。その選考水準の高さから「小さなノーベル賞」とも呼ばれ、世界中の児童文学の質の向上に、計り知れない影響を与えてきました。第 1 回目の受賞者は、イギリスのエリナー・ファージョンでした。(当初は、画家部門がまだありませんでした。) 日本からは、これまでに、赤羽末吉 (1980 年)、安野光雅 (1984 年)、まど・みちお (1994 年)、上橋菜穂子 (2014 年) が受賞しています。

2016 年は 34 カ国から、日本の角野栄子、片山健を含む作家賞 28 名・画家賞 29 名の候補が推薦され、作家賞に中国の曹文軒、画家賞にドイツのロートラウト・ズザンネ・ベルナーが選ばれました。選考は、世界 10 カ国から選ばれた選考委員が行い、選考委員長は、カナダのパトリシア・アルダナが務めました。

● 曹文軒 (中国)



1954 年、江蘇省生まれ。過酷な運命の中で、難題に直面しながらも強く生きる子どもたちの複雑な状況を、美しい文章で描き、新しい児童文学の担い手として高い評価を受ける。貧しい農村部で育った自らの体験がもたらした作品も多い。また、中国の子ども文化や暮らしを守る文学的伝統の継承にも貢献している。邦訳に、2014 年画家賞受賞画家ホジェル・メロが絵を描いた『はね』(訳: 濱野京子 / マイティブック / 2015)、『サンサン』(訳: 中由美子 / 絵: 和歌山静子 / てらいんく / 2002)、『よあけまで』(訳: 中由美子 / 絵: 和歌山静子 / 童心社 / 2002) がある。



● ロートラウト・ズザンネ・ベルナー (ドイツ)

1948 年、シュトゥットガルト生まれ。80 冊以上の子どもの本に絵を描き、2006 年にはドイツ児童文学賞特別賞を受賞。文字のない探し絵本の作者としても秀逸で、俯瞰した全体と複雑な細部の要素を、陽気に楽しく描き、子どもは絵の中に、いくつもの物語を読み取ることができる。邦訳に『ものがたりさがし絵本 (冬・春・夏・秋)』(全 4 冊) (ひくまの出版 / 2006)、『王女さまは 4 時におみえになる』(文: ヴォルフディートリヒ・シュムレ / 訳: 平野卿子 / 偕成社 / 2001)、『数の悪魔』(文: ハンス・マグヌス・エンツェンスベルガー / 訳: 丘沢静也 / 晶文社 / 2002) など。

IBBY オナーリスト

国際アンデルセン賞の創設とともに、世界の優れた児童書に「優良賞 (Hans Christian Andersen, Honour List)」が授与されることになりました。これが現在の「IBBY オナーリスト」の前身です。当初は、国際選考委員の審査を経た作品だけに授与されましたが、やがて、各国支部が推薦する作品すべてをオナーリストと称するようになり、英文名称も、1980 年に、「IBBY Honour List」に変更されました。1974 年に、「文学作品」と「イラストレーション作品」の 2 部門に分けられ、さらに 1978 年には、すぐれた翻訳者の業績を賞する「翻訳作品」部門が加わり、今の 3 部門のかたちになりました。現在は、IBBY 各国支部が、2 年に一度、過去 3 年以内に自国で出版された児童書のうち、それぞれの国の特徴をもつ最も優れた作品を選んで推薦します。複数の言語をもつ国は、「文学作品」と「翻訳作品」に各 3 冊まであげることができます。これらの図書は、各国が世界に広く紹介したい優良作品としてリストにまとめられ、世界に発信されます。

2016 年は 57 の国と地域から 48 言語 173 冊 (文学作品 68 冊、イラストレーション作品 52 冊、翻訳作品 53 作品) が選ばれています。日本からは、文学作品に『あたらしい子がきて』(作: 岩瀬成子 / 岩崎書店)、イラストレーション作品に『希望の牧場』(絵: 吉田尚令 / 文: 森絵都 / 岩崎書店)、翻訳作品に『ハーレムの闘う本屋 ルイス・ミシヨールの生涯』(訳: 原田勝 / 作: ヴォーロンダ・ミシヨール / あすなろ書房) が選ばれました。(写真左から)



● JBBY では全作品をとり寄せ、国内の図書館や学校などで巡回展示をしています。この機会に各国の素晴らしい児童書を直接手にとってご覧ください。

● 2016 年のブックリストをご希望の方は、下記 JBBY 事務局までお問い合わせください。実費にてお分けいたします。なお、数に限りがございますのでご了承ください。

IBBY と JBBY

IBBY (国際児童図書評議会) は、1953 年、第二次世界大戦後のドイツで、子どもの本を通して国際理解を広めようとする人々たちによって創設されました。現在は約 80 の国と地域が加盟し、子どもと本を結ぶ活動に携わる人々の国際ネットワークになっています。「国際アンデルセン賞」「IBBY 朝日国際児童図書普及賞」「IBBY オナーリスト」「IBBY 障害児図書資料センター推薦図書」などの事業を通じ、子どもの本の情報を発信し、各国支部が協力して、支援を必要とする子どもたちに本を届ける活動を続けています。IBBY の日本支部である JBBY (日本国際児童図書評議会) は、子どもたちの未来のためにサポーターを募集しています。

● JBBY 事務局

〒162-0828

東京都新宿区袋町 6

TEL 03-5228-0051

FAX 03-5228-0053

<http://www.jbby.org/>